

令和 6 年 1 月 24 日

蔵王山想定火口域の呼称変更について（案）

蔵王山火口周辺警報の発表時、警戒が必要な範囲をより具体的に示すため、蔵王山想定火口域の呼称を下記のとおり変更する。

記

1 呼称変更

【現 行】想定火口域（馬の背カルデラ）

↓

【変更後】想定火口域（五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ）

2 変更後の火口周辺警報

【大見出し】

蔵王山に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表 変更なし

【本文】

小規模な噴火の可能性。想定火口域（五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ）から概ね 1. 2 km の範囲で警戒してください。

<参考> 現在の火口周辺警報

【大見出し】蔵王山に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表

【本 文】小規模な噴火の可能性。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1. 2 km の範囲で警戒してください。

蔵王山想定火口域の呼称変更について

1 経過

- ◆平成30年10月：山形市観光協会、蔵王温泉観光協会及び上山市観光物産協会が、山形県と山形市及び上山市に対し、連名で要望書を提出
(平成27年及び平成30年に発表された火口周辺警報を契機とした風評被害を踏まえたもの)

要望内容

噴火警報等で使用される「蔵王山」という表記を、蔵王連峰全体と誤解されないよう、より具体的な山岳を示すもの、例えば「蔵王連峰五色岳火口周辺警報」に変更するよう気象庁及び関係機関に働きかけること。

<現行の火口周辺警報>

- 【大見出し】蔵王山に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表
- 【本文】小規模な噴火の可能性。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲で警戒してください。

- ◆平成31年2月：山形県と2市の連名で、山形地方・仙台管区气象台に要望書を提出

[要望内容]

火口周辺警報（警戒レベル2、火口周辺規制）の発表にあたっては、警戒範囲が特定できるような表現に変更して下さるよう要望します。

[回答]

- ・火山名の「蔵王山」を変えるのは難しいので、警報の文章中の表現をどうすればいいのか考えて行かなければと思う。
- ・危険な範囲を明確にわかっていただく面と、蔵王温泉等がそこから離れていることが示せるような表現を考えなければならない。
- ・气象台だけでなく、自治体や観光部門も含めてコンセンサスを取らなければいけないと思う。
- ・どのような表現がいいのか、みんなで知恵を出し合って、その結果を情報の改善に位置付けられたらいいと思うので、今後、議論をさせていただきたい。

- ◆令和元～2年：蔵王山火山防災協議会担当者会議で対応を検討

参集者：山形県・宮城県・関係市町の防災部門、气象台

⇒要望書提出後、气象台だけでなく、自治体や観光部門も含めたコンセンサスを取るため、蔵王山火山防災協議会において協議を進めていた。しかしながら、関係者間で様々な意見があったため、まずは山形県側の関係機関で調整を図り、それが済んだ段階で、宮城県側と調整を図ることとした。

2 蔵王山関係観光協会及び自治体の意見交換会（令和4年3月）

担当者会議を踏まえ、山形県側の関係機関と調整し、以下のとおり整理（確認事項）し、山形地方気象台と調整することとなった。

参集者：山形市観光協会、蔵王温泉観光協会、上山市観光物産協会、蔵王坊平観光協議会、蔵王猿倉観光協議会、山形市（防災・観光）、上山市（防災・観光）

<確認事項>

①火口周辺警報の大見出しの火山名「蔵王山」の変更

⇒【対応困難】長期的課題とし、継続して検討していく。

※気象台からは、火山名は、国土地理院発行の地図にある自然地名を用いることとしており、「蔵王山」と表記しているため、変更は不可との回答

②警報本文について、「五色岳周辺」という表現に変更

⇒【対応中】「五色岳」を使った表現に変更できないか、気象台と相談。

③火口周辺警報が発表された場合でも、蔵王温泉街等は危険ではないことを日頃から周知

⇒【対応済】想定火口域や警戒範囲と施設の位置図を山形県ホームページに掲載

3 山形地方気象台との打ち合わせ概要（令和4年度）

◆令和4年8月

- ・山形地方気象台に、警報本文に「五色岳」を使用することについての見解を求めたところ、「『五色岳周辺』では、警戒が必要な範囲が正しく伝わらず、防災上問題がある。」との回答が改めてあった。

◆令和5年3月（下記4の修正案等を持参のうえ、打ち合わせ）

- ・現状では、なるべく短文でスピーディーに情報発信を行いたい。
- ・「馬の背カルデラ」は、市販の地図には掲載されていないが、火山用語であるため、警報本文に適した表現である。
- ・警報本文に山岳名や地名が含まれると、類似する地名等と混同される可能性がある。
- ・火山情報等で使用する名称等については、蔵王山火山防災協議会にて策定することとなっている。検討の過程では、気象台としても意見を提出する。

4 山形県側の関係機関の合意形成（令和5年3月～6月）

山形地方気象台からの意見を踏まえた修正案を、山形市観光協会等の意見交換会（令和4年3月）の参集者に対して提示したところ、警戒が必要な範囲が市販の地図で確認できるため、防災・観光の双方において有益であるとして了解いただき、下記<修正案②>を山形県側の修正案とすることで意見が一致した。

提示した修正案

【大見出し】蔵王山に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表 ※修正なし

【本文】小規模な噴火の可能性。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲で警戒してください。

<修正案①>小規模な噴火の可能性。想定火口域である馬の背カルデラ（五色岳、刈田岳及び丸山沢を含む）から概ね1.2kmの範囲で警戒してください。

<修正案②>小規模な噴火の可能性。想定火口域（五色岳、刈田岳及び丸山沢を含む馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲で警戒してください。

5 宮城県側の関係機関への説明（令和5年8月）

山形県側の関係機関の合意内容・修正案について、宮城県側の関係機関に対して説明及び意見照会を行ったところ、見直しには賛成（条件付を含む）するものの、修正案について、次のとおり意見があった。

- ①山形県側の本文修正案の「丸山沢」は知名度が低く、混乱が生じる恐れがあるため、これを削除し、「想定火口域（五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ）」に修正すべき。
- ②「丸山沢」は、馬の背カルデラの範囲外にも及ぶことから、範囲内である「振子沢」の呼称に変更した方がよい。

6 令和5年度第1回担当者会議における決定事項（令和5年9月）

参集者：山形県・宮城県・関係市町の防災部門、気象台

- ◆宮城県側の関係機関の意見を踏まえ、想定火口域の呼称を「想定火口域（五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ）」に変更する方針とし、このことについて、両県の関係機関に対して意見照会を行う。
 - ※「振子沢」に変更する案については、「丸山沢」と同様に知名度が低く、混乱が生じる恐れがあるため、採用しないこととした。
- ◆両県の関係機関の意見を踏まえ、第2回担当者会議において、新たな修正案を決定し、幹事会に諮る。

7 両県の関係機関に対する意見照会（令和5年10月）

- ◆防災・観光関係機関に属する蔵王山火山防災協議会の委員・幹事及びレストハウス等の管理者に対し、令和5年度第1回担当者会議における決定事項について意見照会を実施したところ、「賛成」の回答を得た。

8 令和5年度第2回担当者会議における決定事項（令和5年11月）

- ◆関係機関等への意見照会の結果を踏まえ、想定火口域の呼称を「想定火口域（五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ）」に変更するため、呼称変更案を幹事会に提出することを決定。

9 今後の対応

- ◆蔵王山火山防災協議会での正式協議（～令和6年3月）
- ◆協議会では了承を得た際は、仙台管区気象台に対し、想定火口域の呼称の変更を申請

以上

蔵王山想定火口域の範囲

蔵王ロープウェイ
ヘルメット 70個
飲料水 190本
マスク 300枚

熊野岳避難小屋
ヘルメット 20個
飲料水 20本
マスク 40枚

蔵王山神社避難小屋
ヘルメット 20個

蔵王刈田リフト
ヘルメット 100個
飲料水 100本
マスク 100枚

御田の神避難小屋
ヘルメット 30個
飲料水 100本
マスク 30枚

蔵王レストハウス
ヘルメット 200個
飲料水 200本
マスク 400枚

刈田岳避難小屋
ヘルメット 20個
飲料水 20本
マスク 40枚

修正後：五色岳、刈田岳を含む馬の背カルデラ

馬の背カルデラ(想定火口域)

五色岳

刈田岳

追記する山岳名

凡例
箇所名 注意喚起看板



200 m